

日時・場所	令和5年10月16日（月）9時00分～ 庁議室
出席者	栢木市長、佐野副市長、辻議会事務局次長、布施政策調整部長、川尻総務部長、長尾市民部長、武内市民部政策監、吉田健康福祉部長、田中健康福祉部政策監、山本健康福祉部次長、岡崎都市建設部長、西村環境経済部長、馬野教育部長、事務局

1. 開会

<市長挨拶>

○10月に入り毎週末、様々な行事、イベントにお招きいただいている。歴史のある行事、文化がある一方で、本市は今、駅前整備など新しいまちづくりに向けて進んでいる。市民の関心も高まっているので、所管部をはじめみなさんの協力を願う。

2. 議題

【審議事項】

①野洲市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例について

高校生世代の医療費助成と、精神保健福祉手帳1級及び一部2級に該当する者について全診療科受診に係る医療費助成を行うため、野洲市福祉医療費助成条例の一部を改正する。

また、福祉医療費の助成を高校生世代に拡大することに伴い、県制度に合わせ所得制限限度額を設ける一部改正を行う。

【報告事項】

②文化施設再編及び野洲駅南口周辺整備事業について

令和5年10月20日開催の都市基盤整備特別委員会で報告予定の文化施設再編及び野洲駅南口周辺整備事業について概要を報告する。

（文化施設再編について）

→施設集約後の跡地利用として、子ども向け遊具広場を提案されているが、現在、公園の再編に向けた検討が進められているのではないかと。

→都市公園として整備していくのか、子育て支援の機能として整備していくのかは、もう少し議論していく必要がある。都市公園として整備する場合、都市建設部と十分な協議をしていく。

→都市公園を含め、公園については、地元アンケート等を実施し、継続するものと管理の方向性を見直すものを聞き取っているところで、検討段階である。（都市建設部）

→イニシャルコストだけでなく、ランニングコストをしっかりと見積もって進めなければいけない。

→シライシアター野洲はいつまで運営するのか。

→詳細は現在検討中。

→公共施設等適正管理推進事業債の対象が令和8年度までの執行が対象とされているが、文化施設の除却の見通しは立っているのか。

→令和8年度までの解体を念頭においた事業スケジュールを組んでいるところである。

→市としての文化施設整備の考え方は、これまでのようにコンサート等の催事を行うのか、今後は市民の発表の場だけとするのか。それによって規模や改修内容が変わってくると思う。

→文化施設の規模感は、現在のシライシアターの規模感を念頭に考えている。

(野洲駅南口周辺整備事業について)

- 駅前施設の利用者の移動手段について、公共交通、自家用車でのアプローチ等、シミュレーションはしているのか。
- 道路整備計画の中で、周辺の交差点の改良が位置付けられており、これを念頭に置きつつ、駅前ロータリーへのアクセスをどう考えていくのか、年度内に決定する予定の連携事業者と検討を進めていきたい。
- 整備対象区域のCブロックの現存施設はどうなるのか。
- 関係機関と協議の結果、交番については存置。駐輪場、公衆トイレについては、事業者の提案内容により、事業者負担で移設、整備等を可能としている。
- 雨天時の駅前ロータリーの渋滞緩和を考慮した整備を検討いただきたい。
- 連携事業者が決定した後、対話の中で可能性を探っていきたい。
- 整備対象区域に現存する公共施設について、移転、存置等、今後関係課と協議をお願いする。
- 民間事業者から求める、任意提案機能の「子育て支援機能」はどのようなイメージか。
- 公的な保育施設ではなく、子育て世代が気軽に交流できる場のイメージ。
- 補助金返還してでも、今こどもの家に移転させるメリットを整理していただきたい。
- 駅構内の整備、エスカレーターの新設などJRに働きかけをする予定はあるのか。
- 従来から、要望している。
- 駐輪場の現事業者への説明は済んでいるのか。
- 民間事業者が駐輪場を移設、整備された場合も現事業者が継続して運営していただくことを説明している。
- 中期財政見直しには、文化施設の解体費用やこどもの家の移転費用が含まれていないのはなぜか。
- 文化施設の改修について、大規模か小規模かについては次年度の基本計画の中で十分検討していく。またABCブロックについて、事業者の提案内容によって市の財政負担も変わってくるため、中期財政見直しに、駅前整備関連の費用は計上していない。
- 土地の売買、定期借地の場合のシミュレーションはできているのか。
- 鑑定評価、市場動向を踏まえて現在調整中であり、シミュレーションは行っていない。
- 必須機能として整備した施設の管理はどこが行うのか。
- どの部署が管理するかについては未協議である。
- 引き続き各部局からの意見を踏まえて、進めていただきたい。(副市長)

③第2次野洲市総合計画 改訂(案)に係るパブリックコメントの結果について

第2次野洲市総合計画改訂(案)に係るパブリックコメントの結果について概要を報告する。

④令和5年度野洲市中期財政見直しについて

- 市の財政状況を把握し、限られた財源の中で一定水準の行政サービスを安定的に提供し、市の発展のため展望のある施策に計画的に取り組むため、令和6年度から10年度までの5年間の期間を普通会計ベースでシミュレーションした令和5年度中期財政見直しについて報告する。
- 南口周辺整備、文化施設集約化、河川防災ステーション、病院整備に係る見直しは含まれていないが、先の説明の文化施設集約化と収支計画を出している病院は含めるべきではないか。
- 病院整備の費用については、令和10年度以降の元利償還となるので、計画期間に大きな影響

はないが、後年度負担が見込まれている状況であるので病院整備の中で示している。

→文化施設集約化等整備関連の費用が含まれていないのに、基金残高は減っている。行財政改革も進めている。現場は枠配分の新年度予算の調整に苦慮しており、このままでは市民サービス、人件費のカットに繋がりがかねない。新たな打開策が必要では。

→そのような事態にならないよう、最終的な調整をしていきたい。

⑤令和5年第7回野洲市議会臨時会提出議案について

令和5年第7回野洲市議会臨時会提出議案に、補正予算1件、人事案件2件を提出する。

⑥コミュニティセンターにおける備品使用料の徴収誤りについて

市内に7か所ある各コミュニティセンターに設置されているピアノの使用料について、「野洲市コミュニティセンター管理運営規則」に定める額以上の額を徴収していることが判明したので、概要を報告する。

⑦野洲市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律が令和5年9月16日に施行され、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第3条第10項が削除されること等に伴い、関連する条例の整備を図るため所要の改正を行う。

⑧高齢者帯状疱疹ワクチン接種費用助成事業について

高齢者の帯状疱疹ワクチンの接種を促進することで、QOLの維持に資するため、65歳以上の者を対象に帯状疱疹ワクチン接種費用助成事業を実施する。

→年度内で予算枠に到達した場合の対応は。

→事業は打ち切らず、補正で対応する。

⑨野洲市道路占用料条例の一部を改正する条例について

令和4年12月14日公布、令和5年4月1日施行の「道路法施行令の一部を改正する政令」により国道における道路占用料が改正されたことに伴い、所要の改正を行う。

⑩令和3年（ワ）第502号建物収去土地明渡し等請求事件に係る和解について

令和3年第3回定例会議第88号において、訴えの提起について可決を得た妙光寺地先の砂川廃川敷跡不法占有に係る建物収去土地明渡し請求に関し、令和5年9月27日、大津地方裁判所民事部3係から、当該請求事件について、和解勧告が示されたので、これに従うものとして地方自治法第96条第1項第12号の規定により、議会の議決を求めるものである。

⑪MIZBEステーション及びかわまちづくり計画の登録に向けた取組みについて

本市が進めている河川防災ステーションの整備について、その役割をさらに深化させた地域活性化拠点となる「MIZBEステーション」として地域活性化を推し進めるため、MIZBEステーション及びかわまちづくり計画の登録に向けて取組みを進める。

当該計画の申請に向けて、MIZBEステーション整備計画（案）に対する意見を聴取するとともに、かわまちづくり計画（案）を作成するため（仮称）野洲市かわまちづくり協議会を設置する。

⑫全員協議会への提出事項について

令和5年10月23日(月)開催の全員協議会において、報告事項7件、連絡事項5件を提出する。

3. 次回部長会議の予定

10月25日(水) 9時00分～ 庁議室

4. 閉会
